



株主の皆様へ

第44期 株主通信 (中間事業報告)

平成19年1月1日 ▶ 平成19年6月30日



タカクラグループ

富士変速機株式会社

証券コード：6295



株主の皆様へ



代表取締役社長

中島 寿和

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご愛顧を賜わりまことにありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成19年6月30日をもって第44期（平成19年1月1日から平成19年12月31日まで）上半期が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年9月

— 企業理念 —

我社は顧客の視点に立ち、動力伝導技術をコアコンピタンス事業とし、常に新技術を深究し、顧客の繁栄と社会の発展に貢献することを目的とする。

目 次

ご あ い さ つ ・ 目 次	1
ト ピ ッ ク ス	2
事 業 の 概 況 (会社の事業の経過および成果)	3
(対 処 す べ き 課 題) (業績の推移<事業部門別>)	4
財 務 諸 表 (中 間 貸 借 対 照 表)	5
(中 間 損 益 計 算 書)	6
(中間株主資本等変動計算書)	7
(中間キャッシュ・フロー計算書)	7
株 式 の 状 況	8
会 社 の 概 要 (取 締 役 お よ び 監 査 役)	9
株 主 × モ	10

ISO14001 認証取得

平成19年5月に国際規格ISO14001を美濃工場にて認証取得しました。

環境に対する基本理念

私たちは減速機の製造が環境に与えている影響を評価し、環境を守り回復し、より良い環境を後世に継承するために、美濃の美しい自然と深く関わりを持つ企業として持続的発展を目指し、環境保全活動に取り組めます。

環境方針

私たちは次の環境方針を掲げ、減速機の設計、製造、使用、廃棄の各段階における環境の関わりを評価し、製品やサービスを提供するにあたり環境調和型企业の実現を目指します。

1. 環境関連の法律、規制、条例や、当社が同意するその他要求事項を順守するとともに環境マネジメントシステムによる手順を整備し、継続的な改善を図ります。
2. 環境保全に関する啓発を通して環境負荷を低減することで、地球環境の保全を図るとともに、環境に配慮した事業推進や製品提供により汚染予防に努めます。
3. 環境方針を達成するため、環境目的・目標の設定、システムの見直しを実施し美濃工場全社員をあげて環境マネジメントを推進します。
4. 環境方針は美濃工場全社員ならびに関係する全ての人に周知するとともに外部からの要求に対し公開します。



General condition of business

事業の概況

会社の事業の経過および成果

当中間会計期間におけるわが国経済は、原油価格の高騰やこれに起因する原材料価格の上昇など懸念材料はあったものの、好調な企業業績を背景に設備投資は増加を辿り、雇用情勢や所得環境にも改善の動きが広がり、個人消費が底堅く推移するなど、景気は国内民間需要を中心に回復基調を持続いたしました。

当社関連の減速機業界においては、国内企業の収益改善に伴う設備投資の伸びに支えられ、産業機械関連を中心に需要環境は堅調に推移いたしました。また、立体駐車場業界においては、依然として競合各社の価格競争があるものの、昨年6月の改正道路交通法施行を契機に駐車場需要は増加傾向にあり、機械式駐車場の市況にも波及効果が見え始めました。

このような環境のもと、当社は平成19年4月15日をもって創業60周年を迎え、更なる成長と事業価値の向上に取り組んでまいりました。減速機関連事業においては、お客様の要求に応えられる付加価値のある製品の提供など提案型営業の強化により当社の強みを活かした差別化を進めたほか、一部製品について販売価格の適正化を講じるなど、顧客満足獲得と売上向上に努めてまいりました。また、駐車場装置関連事業においては、違法駐車対策に伴う潜在的な需要を捉えた販促活動を重点的に推進し、競争力の強化と安定した受注確保に注力してまいりました。このほか、室内外装品関連事業においては、受注量の増加に対応した効率的な生産体制を構築し、コスト低減と生産性の向上に取り組んでまいりました。

生産面においては、社会的要請である環境に配慮したものづくりと環境保全を進めるため、主力工場である美濃工場において、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」を平成19年5月18日付で認証取得いたしました。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は3,196百万円（前年同期比0.3%増）となりました。損益面につきましては、減速機関連事業において売上高の減少や製造コストの上昇影響などがあったものの、駐車場装置関連事業における収益性が一段と改善したことで、営業利益は96百万円（前年同期比84.9%増）となりました。経常利益は112百万円（前年同期比61.8%増）、中間純利益は47百万円（前年同期比36.5%増）といずれも前年同期を上回りました。

なお、事業部門別の業績は次のとおりであります。

減速機関連事業

「お客様の理想を形にする」を開発コンセプトに、得意分野である三点遊星歯車方式を採用した搬送台車駆動用ギヤード「VG」を発売したほか、オリジナルの製品開発と首都圏で開催される展示会出展などお客様のあらゆるニーズの把握により、産業用機械向け販売を中心に積極的な営業活動を展開しましたが、売上高は1,576百万円（前年同期比2.8%減）となりました。営業損益につきましては、原材料価格の上昇や部品加工設備の投資に伴う減価償却費の負担もあり2百万円の損失（前年同期は50百万円の利益）となりました。

駐車場装置関連事業

機械式駐車場の需要拡大で引き合い件数が増加し受注環境が改善されるなか、主力製品であるパズルタワーの新規完工ならびに短納期改造・改修工事が増加したことにより、売上高は1,226百万円（前年同期比1.4%増）となりました。営業利益につきましては、低価格化に対応した選別受注活動の継続とコスト低減等に努めた結果、採算性が向上し69百万円（前年同期比822.3%増）となりました。

室内外装品関連事業

堅調な需要増加を背景に「スライディングドア66シリーズ」が好調であり、売上高は393百万円（前年同期比4.7%増）となりました。営業利益につきましては、鋼板等の原材料価格が高水準となりましたが、原価低減ならびに生産性の向上により収益面での改善が見られ30百万円（前年同期は5百万円の損失）となりました。

対処すべき課題

下半期のわが国経済の見通しといたしましては、企業業績が好調なことから設備投資は堅調に推移し、国内民間需要の下支えにより景気は緩やかながらも回復基調を堅持するものと思われまます。しかしながら、原油価格の動向や金利上昇など不透明な要素も多く、当社におきましても、企業間競争の激化や製造コストの増加が利益に影響するなど、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われまます。

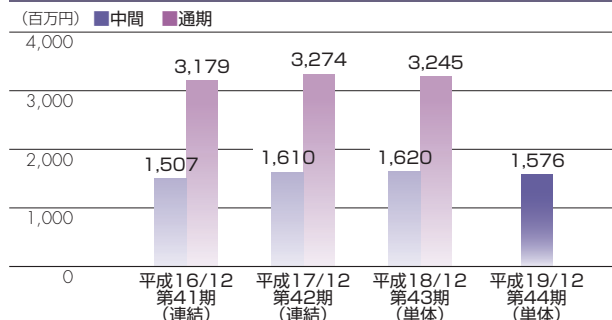
このような環境のもと、当社といたしましては、コスト競争力、製品開発力、営業力の強化に経営資源を投下し、攻めの事業戦略の展開で需要を取り込み、適正な利益水準を確保できる企業体質を目指してまいります。

また、ものづくり企業として重要な人材育成と固有技術の伝承を進めるとともに、付加価値を生まない業務を見直し、各事業部門が一体となって事業価値の向上に取り組んでまいります。

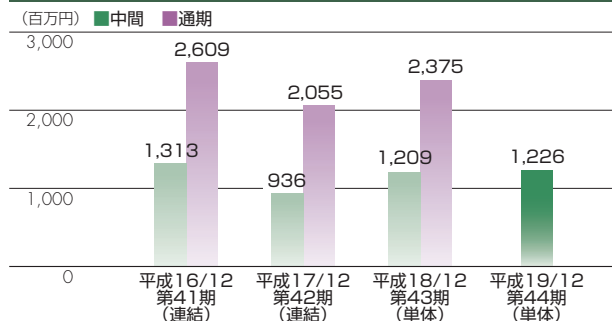
減速機関連事業では、売上向上はもとより生産体制の効率化を図り、品質とコストの最適化による収益改善を最優先課題として取り組んでまいります。また、製品の軽量化や小型化、特定有害物質の排除に関する『RoHS指令』対応など市場環境に適合した製品開発を進めてまいります。駐車場装置関連事業では、環境や福祉をテーマに開発、発売したエレベータ方式立体駐車装置バリアフリー対応「ウェルポート・パズルタワーF」の市場浸透を図るとともに、高層化要求に対応した駐車装置を市場投入してまいります。室内外装品関連事業では、更なる性能と品質の向上を追求し、安定した収益確保に努めてまいります。

業績の推移＜事業部門別＞

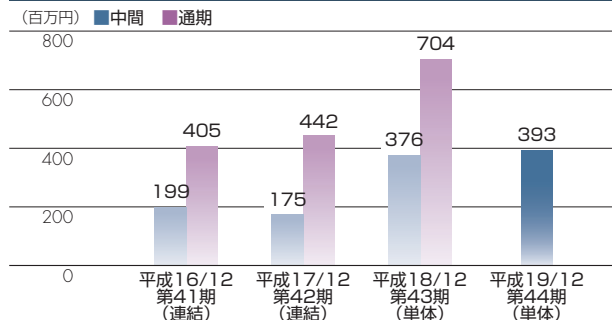
減速機関連事業



駐車場装置関連事業



室内外装品関連事業



Financial Data

財務諸表

中間貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	前中間期 平成18年6月30日	当中間期 平成19年6月30日	前 期 平成18年12月31日	期 別 科 目	前中間期 平成18年6月30日	当中間期 平成19年6月30日	前 期 平成18年12月31日
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	6,378,004	6,826,646	6,467,082	流動負債	1,309,797	1,530,732	1,298,296
現金及び預金	2,981,381	2,423,835	2,478,833	支払手形	613,367	716,512	638,128
受取手形	584,933	647,692	756,941	買掛金	258,034	312,927	293,428
売掛金	489,524	495,291	521,613	工事未払金	101,705	102,697	84,794
完成工事未収入金	303,397	683,064	352,237	未払法人税等	37,382	64,634	72,116
たな卸資産	1,164,304	1,606,458	1,300,943	引当金	36,316	35,321	40,528
未収入金	694,990	800,830	893,946	その他	262,991	298,637	169,299
その他	166,061	177,951	170,481	固定負債	282,102	289,594	280,220
貸倒引当金	△ 6,588	△ 8,478	△ 7,914	繰延税金負債	—	11,792	—
固定資産	4,507,922	4,314,063	4,402,524	退職給付引当金	254,595	247,547	250,347
有形固定資産	3,100,440	2,976,801	3,043,798	役員退職慰労引当金	23,478	26,226	25,844
建物	999,316	946,180	972,853	その他	4,028	4,028	4,028
機械及び装置	295,437	352,463	396,485	負債合計	1,591,900	1,820,326	1,578,516
土地	1,557,896	1,557,896	1,557,896	(純資産の部)			
建設仮勘定	137,706	20,030	11,410	株主資本	9,119,748	9,129,180	9,123,690
その他	110,084	100,230	105,152	資本金	2,507,500	2,507,500	2,507,500
無形固定資産	32,020	26,227	31,971	資本剰余金	3,896,950	3,896,950	3,896,950
投資その他の資産	1,375,460	1,311,034	1,326,753	資本準備金	3,896,950	3,896,950	3,896,950
投資有価証券	785,063	813,159	773,645	利益剰余金	2,912,481	2,922,114	2,916,475
長期貸付金	433,000	341,000	387,000	利益準備金	244,337	244,337	244,337
その他	163,772	162,197	171,569	その他利益剰余金	2,668,143	2,677,776	2,672,137
貸倒引当金	△ 6,376	△ 5,323	△ 5,461	別途積立金	2,450,000	2,450,000	2,450,000
資産合計	10,885,927	11,140,710	10,869,606	繰越利益剰余金	218,143	227,776	222,137
				自己株式	△ 197,183	△ 197,383	△ 197,235
				評価・換算差額等	174,278	191,203	167,400
				その他有価証券評価差額金	174,278	191,203	167,400
				純資産合計	9,294,026	9,320,384	9,291,090
				負債及び純資産合計	10,885,927	11,140,710	10,869,606

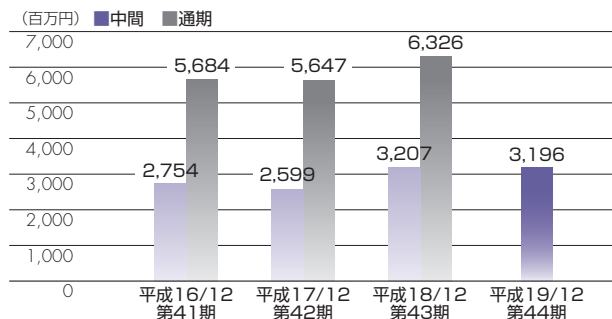
中間損益計算書

(単位：千円)

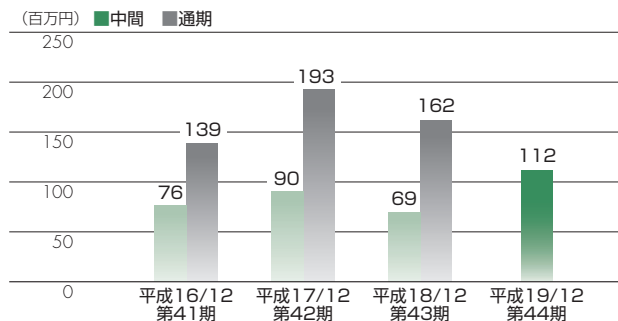
科 目	期 別	前中間期	当中間期	前 期
		平成18年1月1日から 平成18年6月30日まで	平成19年1月1日から 平成19年6月30日まで	平成18年1月1日から 平成18年12月31日まで
売上高		3,207,131	3,196,840	6,326,017
売上原価		2,780,979	2,716,831	5,464,262
売上総利益		426,151	480,009	861,754
販売費及び一般管理費		373,833	383,249	731,326
営業利益		52,318	96,759	130,428
営業外収益		23,713	23,648	43,005
営業外費用		6,459	7,828	11,409
経常利益		69,573	112,579	162,024
特別利益		1,893	138	1,354
特別損失		2,953	2,045	3,290
税引前中間(当期)純利益		68,512	110,671	160,088
法人税、住民税及び事業税		29,841	56,391	82,257
法人税等調整額		3,567	6,346	△ 3,562
中間(当期)純利益		35,104	47,934	81,393

業績の推移

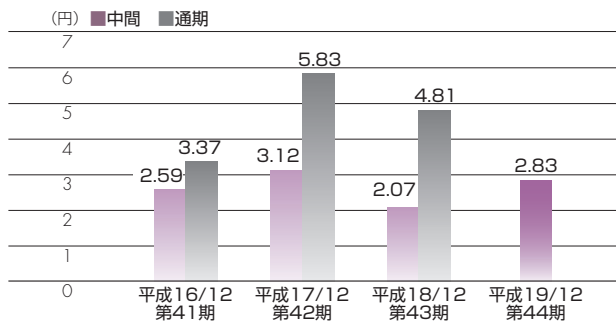
売上高



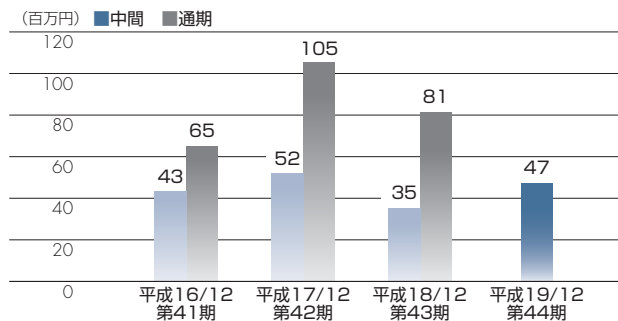
経常利益



1株当たり中間(当期)純利益



中間(当期)純利益



Financial Data

財務諸表

中間株主資本等変動計算書（平成19年1月1日から平成19年6月30日まで）

（単位：千円）

項目	株 主 資 本								評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計		
		資本 準備金	資本 剰余 金 合計	利益 準備金	その他 利益 剰余 金 合計	繰越 利益 剰余 金						
平成18年12月31日残高	2,507,500	3,896,950	3,896,950	244,337	2,450,000	222,137	2,916,475	△ 197,235	9,123,690	167,400	167,400	9,291,090
中間会計期間中の変動額												
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△ 42,294	△ 42,294	—	△ 42,294	—	—	△ 42,294
中間純利益	—	—	—	—	—	47,934	47,934	—	47,934	—	—	47,934
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△ 148	△ 148	—	—	△ 148
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23,803	23,803	23,803
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	5,639	5,639	△ 148	5,490	23,803	23,803	29,294
平成19年6月30日残高	2,507,500	3,896,950	3,896,950	244,337	2,450,000	227,776	2,922,114	△ 197,383	9,129,180	191,203	191,203	9,320,384

中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科 目	期 別	前 中 間 期	当 中 間 期	前 期
		平成18年1月1日から 平成18年6月30日まで	平成19年1月1日から 平成19年6月30日まで	平成18年1月1日から 平成18年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		336,138	△ 32,169	△ 85,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 42,632	19,704	△ 81,425
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 42,229	△ 42,532	△ 84,610
現金及び現金同等物の増減額		251,277	△ 54,997	△ 251,271
現金及び現金同等物の期首残高		2,730,104	2,478,833	2,730,104
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		2,981,381	2,423,835	2,478,833

（ご参考）

■ 1株当たり純資産額

	当 期 (第44期)	前 期 (第43期)
中 間	550円93銭	549円36銭
期 末	—	549円19銭

■ 1株当たり配当額

	当 期 (第44期)	前 期 (第43期)
中 間	2円50銭	2円50銭
期 末	2円50銭（予想）	2円50銭

Stock Information

株式の状況 (平成19年6月30日現在)

株式の状況

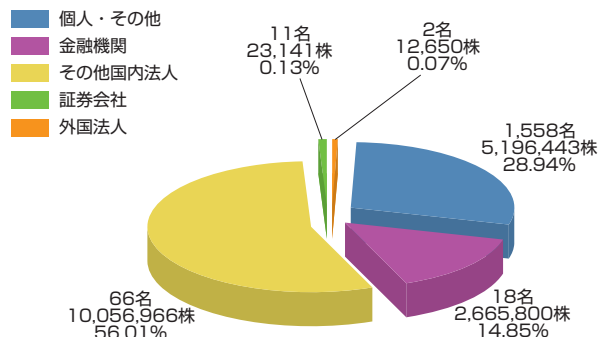
発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	17,955,000株
単元株式数	100株
株主数	1,655名

大株主の状況 (上位10名)

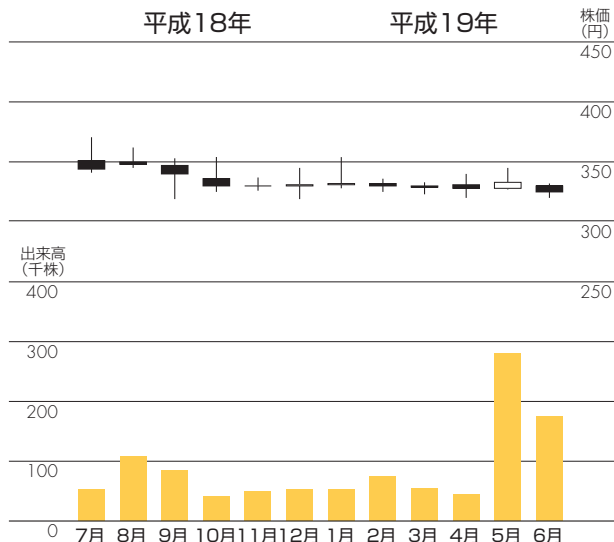
株主名	持株数 千株	議決権比率 %
立川ブラインド工業株式会社	9,393	55.94
富士変速機取引先持株会	907	5.40
株式会社愛知銀行	526	3.13
岐阜信用金庫	437	2.60
富士変速機従業員持株会	344	2.04
株式会社十六銀行	334	1.99
株式会社みずほコーポレート銀行	221	1.32
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	220	1.31
中央三井信託銀行株式会社	171	1.01
郷 健 二	150	0.89

- (注) 1. 当社は、自己株式1,037千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記大株主から除いております。
2. 千株未満は切り捨てて表示しております。

株式の所有者別分布状況



株価および出来高の推移



General condition of company

会社の概要 (平成19年6月30日現在)

会社の概要

社名	富士変速機株式会社
英文社名	FUJI HENSOKUKI CO., LTD.
創業	昭和22年4月
設立	昭和40年1月
資本金	25億750万円
岐阜県知事許可	建築工事業 (特-17) 第10684号 機械器具設置工事業 (特-17) 第10684号
上場取引所	名古屋証券取引所 市場第二部
証券コード	6295
ホームページアドレス	http://www.fujihensokuki.co.jp
従業員数	191名 (男性181名 女性10名)

主要な事業所

本社	岐阜県岐阜市中洲町18番地 電話 (058) 271-6521 (代表)
美濃工場	岐阜県美濃市極楽寺963-1 電話 (0575) 33-1151 (代表)
テクノパーク工場	岐阜県美濃市楓台7 電話 (0575) 35-3972 (代表)
東日本営業部	東京都渋谷区代々木2-16-4 電話 (03) 3370-6359 (代表)

取締役および監査役

代表取締役社長	中島寿和
取締役	島田寿男
取締役	小島俊彦
取締役	井本明
取締役	足立高則
取締役	中村秀夫
取締役	小酒井延雄
取締役	國米利政
常勤監査役	西澤義治
監査役	竹中伸也
監査役	阿保晴也
監査役	金箱聡

- (注) 1. 取締役の國米利政氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役の竹中伸也、阿保晴也、金箱聡の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

Shareholder Information

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の 期末配当基準日	12月31日
剰余金の 中間配当基準日	6月30日
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 http://www.fujihensokuki.co.jp/kessan/
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号（〒460-8685） 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部 フリーダイヤル0120-78-2031
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
単元株式数	100株
単元未満株式の 買取または買増 請求受付場所	株主名簿管理人の事務取扱場所および同取次所にてお取扱いいたします。

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人の「フリーダイヤル0120-87-2031」で24時間受付しております。

 タチカワブラインドグループ
富士変速機株式会社
<http://www.fujihensokuki.co.jp>

R100
古紙配合率100%再生紙

 PRINTED WITH
SOY INK
環境に配慮した「大豆油インキ」
を使用しています。